

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

■学修領域（教育分野）

- ①経営工学
- ②データサイエンス

■カリキュラム編成の基本方針

経営工学・データサイエンスに関する諸問題に対して、高度情報化とグローバル化に対応できる総合的な分析能力、問題発見能力および解決能力を身につけるために必要な、数学および自然科学に関する知識を修得するための科目や統計学や最適化に関するさまざまなアルゴリズム、マネジメント手法、情報技術を使って経営に関する意思決定問題を解決に導く能力を修得するための科目を配置し、情報処理と情報分析に関する理論や手法を組織活動の場面に適用することができる行動力をもって、組織の持続的な価値創造に貢献できる人材を養成する。

■年次別科目の配当方針

1年次には、専門知識を理解する上で必要となる数学および自然科学に関する知識を身に付ける。さらに、経営工学やデータサイエンスに関する基礎知識と情報リテラシーを修得する。また、演習によるグループワークを通じて、他者との協働に必要な、討論を含めたコミュニケーション能力、自分の考えを発信するために必要なプレゼンテーション能力を養成する。

2年次には、経営工学とデータサイエンスに関する専門知識を学ぶとともに、これらを実現するのに必要なプログラミングやモデリングに関する技術を修得する。

3年次には、経営工学とデータサイエンスに関する学修領域の統合的な応用法・活用法を修得するため、更なる専門知識の修得と、データの可視化やシミュレーションの技術を用いた実践演習を行う。さらに、研究室に配属し、卒業研究の遂行に必要な専門知識を修得する。

4年次の卒業研究では、これまでに培った分析能力、問題発見能力および解決能力などを駆使して、特定のテーマに関する卒業研究論文の執筆と卒業研究発表を実施し、論理的記述力、口頭発表能力や総合的な分析能力、問題発見能力および解決能力を養成する。

■学修成果の評価の在り方

シラバスにより各授業科目の学修内容、到達目標、成績評価の方法や基準を周知し、それに則した成績評価を行う。2年次および3年次終了時に進級判定を行い、4年次終了時には卒業研究論文および卒業研究発表をディプロマ・ポリシーの各項目の修得と達成度合いに基づき総合的に評価し卒業判定を行う。